

花だけでなく、間も大事なんだね



華道

花と向き合い、空間に命を生ける



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

華道の入り口	3～4
型と花材を知る	5～9
華道を暮らしに生かす	10～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

華道ってなに？

華道がどんな文化なのか、まず全体をつかみましょう。

華道とは、花や枝を花器に生け、その形や空間の美しさを表す日本の伝統文化です。「生け花」とも呼ばれています。

花そのものだけでなく、余白や角度にも心をくばるところに、華道ならではの美意識があります。



華道

かどう／kado, the way of flowers

花や枝を生け、美しさを表す日本の伝統文化

生け花

いけばな／ikebana

花を花器に生けること。華道とほぼ同じ意味で使われる

ポイント

- 華道は「道」とつくように、技だけでなく心を大切にする文化です。
- 流派によって、生け方や考え方にちがいがあります。

やってみよう

1. 生け花や華道と聞いて、どんなイメージを持ちますか。 _____

書いて覚えよう

華道の歴史

華道がどのように育まれてきたのかを学びます。

花を仏前に供える文化がもとになり、室町時代ごろに、生け花の形が整えられていったといわれています。

長い年月をかけて、さまざまな流派が生まれ、それぞれの美意識が受け継がれてきました。



ポイント

- はじめは仏前に花を供える意味合いが強かったといわれています。
- 時代とともに、床の間を飾る芸術としても親しまれるようになりました。

やってみよう

1. 花を飾る文化が長く続いていることについて、どう思いますか。

書いて覚えよう

代表的な流派の1つ「池坊」と、流派の考え方を学びます。

5

華道の伝統的な形、立花と生花を学びます。

りっか / rikka

自然の景色を表す、格式高い生け方

しょうか / shoka

花の姿を生かし、少ない材料で生ける形

- 立花は、山や水辺などの自然の風景を、花で表す形といわれています。
- 生花は、立花よりもすっきりとした形で、花本来の美しさを大切にします。

1. 立花と生花、どちらの形に興味がありますか。理由も書いてみよう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 華道 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

決まった形にとらわれない「自由花」を学びます。

現代の暮らしに合わせやすい

初めて華道にふれる人にも、取り組みやすい形といわれています。

- 自由花は、伝統的な形を学んだ上で、自分らしさを表現する生け方でもあります。
- 洋花を使った自由花も、今では多く見られます。

1. 自由花で表してみたい気持ちや景色を1つ考えてみよう。

花材の選び方・季節の花

花材の選び方と、季節ごとの花を学びます。



春

はる/haru

桜や桃など、やさしい印象の
花材

3～5月ごろ



夏

なつ/natsu

あじさいやひまわりなど涼しげ
な花材

6～8月ごろ



秋

あき/aki

紅葉した枝やコスモスなどの花
材

9～11月ごろ



冬

ふゆ/fuyu

椿や松など、落ち着いた印象の
花材

12～2月ごろ

ポイント

- 花材は、花だけでなく、枝や葉、実なども使われます。
- 季節の花材を選ぶことで、作品に季節感が生まれます。

やってみよう

1. 今の季節に生けてみたい花材を1つ書こう。 _____

書いて覚えよう

枝ものの扱い

華道でよく使われる「枝もの」の扱いを学びます。

ポイント

- 枝ものとは、花だけでなく、枝の形や線の美しさを生かす花材のことです。
- 枝を少し曲げたり切ったりして、全体の形を整えることもあります。
- 枝の伸びる向きを生かすことで、自然な躍動感が生まれるといわれています。

やってみよう

1. 身近にある枝で、美しいと感じるものを1つ思い浮かべてみよう。

ワンポイント 枝を切るときは、はさみでけがをしないよう、大人といっしょに行いましょう。

書いて覚えよう

花器

花を生ける器「花器」の種類を学びます。

水盤

底が浅く、広口の器

壺

口がせまく、背の高い器

かご

自然素材を生かした軽やかな器

ポイント

- 花器の形によって、生けられる花の向きや量が変わります。
- 花材と花器の組み合わせも、作品の印象を大きく左右します。

やってみよう

1. 家にある器で、花を生けられそうなものを1つ探してみよう。

書いて覚えよう

剣山・花ばさみ

華道で使う代表的な道具を学びます。

剣山

けんざん／kenzan

針が並び、花や枝を固定する道具

花ばさみ

はなばさみ／flower scissors

花や枝を切るための専用のはさみ

ポイント

- 剣山は水盤の中に沈め、花や枝の角度を固定するために使われます。
- 花ばさみは切れ味がよいので、使うときは十分に注意が必要です。

やってみよう

1. 剣山を使ってみたいと思いましたか。理由も書こう。

ワンポイント 剣山や花ばさみは針や刃がついているので、扱うときは大人といっしょに気をつけましょう。

書いて覚えよう

天・地・人・空間の美しさ

生け花の基本の考え方「天・地・人」と、空間の美を学びます。

天・地・人とは

多くの流派で、いちばん高い枝を「天」、いちばん低い枝を「地」、その間を結ぶ枝を「人」として、3つのバランスで作品を組み立てる考え方が受け継がれています。

ポイント

- 花を詰め込みすぎず、あえて空間を残すことも、生け花の美しさの1つです。
- 余白があることで、1本1本の花の存在がより引き立ちます。

やってみよう

1. 「余白の美しさ」を感じる作品や景色を1つ思い浮かべてみよう。

書いて覚えよう

客をもてなす場でもある

床の間の花は、季節や行事に合わせて生け替えられることが多いです。

- 床の間は、和室の中でもとくに大切にされてきた空間です。
- 花を飾ることで、訪れる人をもてなす気持ちを表してきました。

1. 家に床の間があれば、飾られているものを書いてみよう。



生け花って、花をきれいに並べるだけかと思ってた。



でも、余白や角度にも意味があるんだよね。わたしもやってみたいな。

- 華道では、花と静かに向き合う時間そのものも大切にされています。
- 初心者でも、身近な花で生け花を体験することができます。

1. 身近な花や枝で、生け花を1つ試してみよう。

家に花を飾る

華道の考え方を、日常の暮らしに取り入れてみましょう。

家に花を飾る工夫

花瓶に1輪だけ生ける

枝ものを添える

季節の花を選ぶ

花の向きをそろえすぎない

本格的な道具がなくても、身近な花瓶で楽しむことができます。

ポイント

- 花を1輪飾るだけでも、部屋の雰囲気は変わります。
- 花の水は、こまめに替えると長持ちしやすくなります。

やってみよう

1. 家に花を飾るとしたら、どこに置きたいですか。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

見て、華道をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

生け花の写真集

花展・展示会

花器や剣山などの道具

床の間の花

実物の花器や作品を見ると、写真だけではわからない立体感に気づけます。

ポイント

- 花展では、さまざまな流派の作品を見比べることができます。
- 地域の公民館などでも、生け花の展示が行われることがあります。

やってみよう

1. 見てみたい生け花の作品を1つ探してみよう。

書いて覚えよう

花展を見に行く

多くは、家でも安全に体験できます。

- 体験すると、本や写真だけではわからない発見があります。
- はさみを使うときは、大人といっしょに気をつけて行いましょう。

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験して気づいたことを書こう。

18

地域によるちがい

華道には、流派や地域によるちがいもあります。

共通すること

多くの流派に見られる考え方

花や自然を大切にする

生ける心の土台にする

余白を意識する

詰め込みすぎない

ちがうこと

流派によって形がちがうもの

生け方の型

流派ごとに独自の型がある

好まれる花材

地域や流派で傾向がちがう

ポイント

- 「華道は必ず～」と決めつけず、流派や地域によるちがいを大切にしましょう。
- 地域の花や植物を生かした作品づくりも行われています。

やってみよう

- あなたの地域でよく見られる花を1つ書こう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

華道は、時代とともに少しずつ変わってきました。

昔

以前のようす

決まった型が中心

立花・生花が主流

床の間で楽しむ

和室での鑑賞が中心

今

今のようす

自由花も広く親しまれる

洋花も取り入れる

暮らしの中で気軽に楽しむ

花瓶1つから始められる

ポイント

- 形が変わっても、花と静かに向き合う心は受け継がれています。

やってみよう

1. 家族に、花を飾ることについて聞いてみよう。

書いて覚えよう

よくある疑問

華道について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. 華道は特別な道具がないとできませんか？

A. そんなことはありません。花瓶と身近な花からでも楽しむことができます。

Q. 自由花なら、何でも好きに生けてよいのですか？

A. 決まった型はありませんが、花や空間を大切に作る心は自由花でも共通しています。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

やってみよう

1. 華道について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

華道にふれるとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 花展や展示を見るときは、作品にふれず、静かに鑑賞しましょう。
- 花ばさみや剣山を使うときは、指をけがしないよう注意しましょう。
- 生けた花は水をこまめに替え、大切に育てましょう。

ワンポイント わからないマナーがあるときは、まわりの人を見てまねたり、そっとたずねたりすると安心です。

やってみよう

1. 花展を見に行くときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

生け方のことば

☐ 立花

自然の景色を表す格式高い生け方

☐ 生花

花本来の姿を生かす生け方

☐ 自由花

決まった型にとらわれない生け方

道具と考え方

☐ 剣山

花や枝を固定する道具

☐ 花器

花を生ける器

☐ 天・地・人

3本の枝でバランスをとる考え方

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、華道がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|---------------|-------------|
| ☐ | 華道の特徴を1つ以上言える | 余白・季節の花など |
| ☐ | 生け方の型を1つ言える | 立花・生花・自由花など |
| ☐ | 華道の道具を1つ言える | 剣山・花ばさみなど |
| ☐ | 生け花を1つ体験した | 花を花瓶に生けるなど |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

家族や友だちに話してみよう

学んだ華道のことを、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたいこと

由来や意味

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Ken の例

伝えたいこと 天・地・人／由来や意味 3本の枝でバランスをとる生け花の考え方／自分が感じたこと 余白にも意味があることに驚いた／聞いてみたいこと 家に花を飾る習慣があるか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

華道を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

華道

かどう / the way of flowers

花や枝を生け、美しさを表す日本の伝統文化

花器

かき / flower vase

花を生けるための器

Emma

華道を英語で紹介するとき、どう説明する？



Ken

花だけでなく、空間全体の美しさを表す文化、と伝えるようにしているよ。

ポイント

- すべてを直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

1. 紹介したい華道の見どころを1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

華道の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

華道の本を借りる

花展へ

作品の展示を見に行く

家族に

花を飾る習慣を聞く

次に学びたいテーマ

茶道

花とともに大切にされてきた文化

和室の暮らし

床の間や畳の文化

四季と暮らし

季節ごとの行事や自然

ポイント

- 華道を学んだ次は「茶道」もあわせて学ぶと、つながりが見えてきます。

書いて覚えよう

華道チャレンジ

教室の外でも、華道の魅力はすぐに見つけられます。

見つけよう

身近にある**季節の花**を1つ探す

聞いてみよう

家族に**花を飾る習慣**について質問する

伝えよう

華道の魅力を**友だちや家族に紹介**する

こたえ

L28 立花→エ 生花→ウ 自由花→オ 剣山→ア 天・地・人→イ 2.
まちがい / 正しいL33 (例) 華道とは、花や枝を生け、その形や空間の美しさを表
す日本の伝統文化のこと。

書いて覚えよう

華道 (Season 6 | No.52)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。